

鳥取看護大学



鳥取短期大学

グローバルセンターだより

Glocal Center



倉吉市長と意見交換会「市長と“はなし”しょいや」開催しました

4月30日(水)、本学において、倉吉市の広田一恭市長と看護大・短大の学生29名が意見交換会を開催しました。3回目となる今回は2部構成で実施され、第1部では、倉吉市職員の方から市の概要や魅力、現状と課題の説明があり、その後、学生たちが「倉吉市の5年後のめざましの姿」をテーマに、グループワークを行いました。人口減少や市民の生活満足度調査を踏まえながら、「こんなまちになったらいいなあ」という思いを模造紙にまとめ、意見を共有しました。

第2部では、市長を交えてグループワークの発表と意見交換が行われました。市長も積極的に学生の意見を聴き、過去の提案の実現例を紹介しました。この意見交換会を通じて、学生たちは自分たちの意見が地域づくりに活かされる可能性を実感し、市政への関心を高める貴重な機会となりました。



グローバルフェスティバルを開催しました！

地域に開かれた大学として初の試みとなる「グローバルフェスティバル」を3月29日(日)に開催しました。地域住民52名が来場し、教職員および「まめんなかえ師範」との協働によるさまざまなプログラムに、参加者の満足度も高く、地域とのつながりを実感する機会となりました。

そして、第2回目の「グローバルフェスティバル」を8月30日(土)に開催。オープニングはリコーダーアンサンブル「アウリンコ」様によるミニコンサートで華やかに始まり、60名が来場し、教員のミニ講話を聴いたり、「まめんなかえ師範」のハンドマッサージを受けたり、缶バッジ作りに挑戦したりと、フェスティバルを大いに楽しんでいただきました。

これからも継続して開催する予定です。地域のみなさま、ぜひお越しください！

とっとり



プラットフォーム5+αの取組み

学生アートギャラリーを開催しました

6月28日(土)から7月6日(日)の9日間、鳥取県立美術館で「学生アートギャラリー」を開催しました。鳥取短期大学と公立鳥取環境大学の学生による作品の展示をはじめ、学科別によるブース出展や絃研究室による倉吉絃の展示などをおこない、土日はワークショップの開催や鳥取看護大学、鳥取短期大学と公立鳥取環境大学による進学説明会も実施しました。会期中は合計3,649名の方にご来場いただき、「若い方の発表の場所になっていることがとても良い」「大学生活でたくさんの方のことを学んでいてすごい」など、嬉しい感想を多数いただきました。





～地域で活動 地域で対話～



◆鳥取看護大学・鳥取短期大学消防防災サークル 「ToCoToN FAST(トコトンファスト)」活躍中！

鳥取看護大学・鳥取短期大学の学生による消防防災サークル「ToCoToN FAST(トコトンファスト)」。

防災意識の向上を目的に、地域での活動を積極的に展開中です。
6月14日(土)、倉吉福祉センター(倉吉市)で開催された「第9回ボランティアフェスティバル」では、防災グッズの展示と「防災ボトル」ワークを行いました。「防災ボトル」とは、いざという時のために携帯用のウォーターボトルに必要な防災グッズ(例えば、ティッシュ、ガーゼ、カットパン、ホイッスルなど)を詰め込んだもので、外出時などに持ち歩くことにより防災力を高めることができます。

また、7月26日(土)、倉吉交流プラザで開催された「おてんきひろば in 倉吉市立図書館」では、ボランティアスタッフとして参加しました。会場では、「紫外線ビーズを使ったストラップづくり」と「おてんきかるた」のブースを担当し、参加した子どもたちは、太陽の光で色が変わるふしぎなビーズに興味津々。サークルメンバーはストラップづくりのコツを伝えながら、交流を深めていました。

ToCoToN FAST(トコトンファスト)は、これまでの経験を活かし、防災意識のさらなる向上をめざして、これからも地域に根ざした活動を続けてまいります。

◆親子で学ぼうSDGs

「冷蔵庫を使わずにアイスクリームを作ろう!」を開催

7月26日(土)、西郷コミュニティセンターにて「親子で学ぼうSDGs『冷蔵庫を使わずにアイスクリームを作ろう!』」を開催し、9組の親子が参加しました。

まず、生活学科食物栄養専攻の加古大也助教がSDGsの概要と、地元の食材を使ったアイスクリーム作りについて説明をしました。その後、調理手順を確認し、参加者全員がアイスクリーム作りに挑戦。「氷と塩をまぜるだけでとっても冷たくなることにびっくりした」「材料をタオルに巻いて振るのが大変だったけど、アイスクリームはおいしかった」などの感想が寄せられました。



◆倉吉市下田中自治公民館で

「鳥取看護大学まちの保健室」を開催

6月5日(木)、倉吉市下田中自治公民館にて「鳥取看護大学まちの保健室」を開催しました。当日は15名の地域の方の参加があり、体脂肪、血圧、骨密度、血管年齢などの測定と健康相談を実施しました。また、「体重が気になっているが思うように減量できない」という下田中サロン参加者の悩みに応えて、鳥取看護大学の藤原美智子助教による「体重と健康の関係」と題したミニ講話を行い、高齢期の体重減がもたらすリスクについて、ちょっとドキッとする内容に皆さん聞き入っていました。

◆地域連携体験プログラム

～ボランティア活動を学びへ～振り返り会

「地域連携体験プログラム」は、学生がボランティア活動を通して地域社会に役立つスキルを身につけ、持続的な地域貢献と地域志向性の育成をめざす取り組みです。今年度から始まり、8月4日(月)には、異なるボランティアに参加した学生による振り返りワークショップを行いました。

参加した学生からは、「他者の経験から自身の課題に気づくことができた」「視野を広げるために今後もボランティア活動を続けたい」といった感想が聞かれ、プログラムの成果がうかがえました。グローバルセンターは、このプログラムを通じて、今後も学生たちの成長を支援していきます。



～海外とのつながり～

◆台湾崇仁医護管理専科学校夏季研修受け入れ

7月15日(火)～18日(金)、鳥取看護大学・鳥取短期大学では、崇仁医護管理専科学校(台湾・嘉義県)の夏季短期研修生を受け入れました。この研修は、昨年4月に締結した学術協定に基づき、異文化理解や国際交流の機会の提供を目的として、両大学の国際交流委員会が中心となって企画しました。4日間という短い期間でしたが、台湾から来日した学生4名と教員2名は、学内見学ツアーや授業体験、学外研修などのさまざまなプログラムをとおして両大学の学生・教職員と交流を深めました。

台湾の学生からは「たくさんの興味深い場所に行き、たくさんの友達もできました」「日本と台湾の教育方法には大きな違いがあり興味深く感じました」などの感想が聞かれました。この出会いを大切に、次回台湾で再会し、さらに親交を深められることを楽しみにしています。



◆English Caféで英語に親しみました

6月5日(木)のEnglish Caféでは、地域コミュニケーション学科1年生の授業「共生のためのプロジェクト演習A」で取り組んでいる英語絵本の読み聞かせに参加し、一緒に英語を楽しみました。

また、6月17日(火)に開催したEnglish Caféでは、本学交流センターのラーニングcommonsにて、友達と一緒にランチを食べながら、ワイワイおしゃべりして英語に親しみました。「今日の昼ごはんは何?」「気合を入れる一言って英語でどう表現する?」など、学生たちの普段の生活や友人と過ごす様子などさまざまなエピソードについて、英語での会話をしました。

これからも楽しみながら英会話を学ぶ機会をどんどん提供していきます!

～同窓会の取組み～

◆鳥取短期大学同窓会白鳥会 米子地区同窓会開催



7月6日(日)、バンケット&ウェディング シュにて、米子地区同窓会を開催しました。

約90名の同窓生・教職員が集い、久しぶりに再会した友人や恩師と笑顔で語り合い、懐かしさと温かさに包まれた、世代を超えた交流の場となりました。

在学生による大学生活についての話や卒業生のスピーチ、さらに、岡野幸夫先生より大学の近況や今後の展望について紹介があり、母校が今も着実に発展を続けていることを全員で確認する機会となりました。

◆鳥取看護大学

開学10周年記念パーティーを開催します!

平成27年4月に開学した鳥取看護大学は、おかげさまで開学10周年を迎えました。これを記念し、鳥取看護大学では開学10周年記念パーティーを開催いたします。

鳥取看護大学の卒業生の方はもちろん、開学から支えてくださった地域のみなさまにもご参加いただき、鳥取看護大学の10年の歩みを振り返り、ともに喜びを分かち合い、これからも地域とともに歩み続ける大学として更なる成長を誓う、そのような会にしたいと思います。みなさまのご参加をぜひお待ちしております!

鳥取看護大学 開学10周年記念パーティー

日時: 令和7年10月18日(土)
10:30～12:00

会場: 鳥取看護大学
1階かんとりい☆ホール 他
(倉吉市福庭854)

★同日、鳥取看護大学・鳥取短期大学の
大学祭を実施しています。
お気軽にご参加ください!



「よろず相談」を始めました！

グローバルセンターでは今年度より「よろず相談」窓口を開設し、地域の方のご要望に合わせて大学の教育資源を活用・提供する取組みを始めました。

その一つに、鳥取市にある教育支援センターすてっぴ様からの「生徒たちが義務教育後の学校の様子を知って、これからの目標や学びに生かす機会をつくりたい」というご要望にお応えすべく、7月3日（木）に大学見学・体験会を企画しました。

当日は、16名の小中学生が、大学見学に訪れました。参加した生徒たちは、まず大学の説明を聞き、その後食堂で大学生と同じように昼食をとり、大学の雰囲気を感じていました。午後は、生活学科住居・デザイン専攻の学生とともに「デザイン基礎Ⅰ」の授業を体験。それぞれが大学での時間を楽しみ、さまざまな体験をととして多くの刺激を受けた様子でした。



対話鑑賞ファシリテーター養成研修

5月16日（金）、6月6日（金）・20日（金）に鳥取県立美術館と鳥取短期大学を会場に「対話鑑賞ファシリテーター養成研修」を実施しました。この研修は、授業の一環として鳥取短期大学の地域コミュニケーション学科1年生が一般の方たちと一緒に受講しており、学生たちは全5回の研修を重ねながら実践的スキルを身につけ、小学生を対象にファシリテーションを実践するという目標に向かってがんばっています。

毎回講師の方をお招きし、美術館はアートとの出会いの場所であることや新しい交流の場を意図して設計されていること、作品に出会ったときの感情や印象と同様に作品の背景にある知識が重要であること、対話鑑賞ファシリテーターの役割などを実践を交えて学習していきます。学生たちは作品から感じたことを共有し合い、さまざまな見方や解釈があることやアートと人を繋ぐことの楽しさを実感しているようでした。

令和7年度 公開講座全6回が終了

「住民が主役！地域の魅力再発見～記憶・変遷、そして未来へ～」をテーマに6回開催した公開講座は、9月5日（金）をもって今年度すべてのプログラムが終了しました。歴史的に蓄積された生活様式や風土、それらを基盤とする多様な文化や事象を取り上げ、現在の変化や課題について講師陣が講演し、ライブ配信も含め、300名以上の方に受講していただきました。来年度も地域のみなさんの関心ある講座を開催したいと思います。



◆「和菓子の日」に 打吹公園だんごのプレゼント



6月16日（月）、倉吉市の株式会社石谷精華堂様より、鳥取看護大学・鳥取短期大学の学生へ打吹公園だんご100本が贈られました。この企画は、6月16日の「和菓子の日」にちなんで、「地元の学生に倉吉銘菓を味わってほしい」という石谷精華堂様のご厚意により実現しました。

学生たちは、「普段食べる機会がありませんので嬉しい」「個包装のパッケージがかわいい」などと言いながら、とても嬉しそうに打吹公園だんごを受け取っていました。石谷精華堂様、ありがとうございました！

◆くらよし打吹まつり 「みつぼし踊り大会」に出場

本学は、大学の地域貢献と情報発信を目的とし、「鳥取看護大学・鳥取短期大学・鳥取短期大学附属こども園踊り子隊」として、8月2日（土）に開催された「みつぼし踊り大会」に出場しました。

今年度の大会は、鳥取県立美術館前の芝広場で行われ、本学踊り子隊は、総勢25名で踊りを披露。会場に訪れたみなさんから多くのご声援をいただき、他の参加チームの方々との交流も楽しみながら笑顔で元気よく踊りました。



＜発行＞ 鳥取看護大学・鳥取短期大学グローバルセンター 〒682-8555 鳥取県倉吉市福庭854
TEL：0858-27-0107 FAX：0858-26-9138 E-mail：glocal@cygnus.ac.jp
＜印刷＞ 鳥取県農協印刷